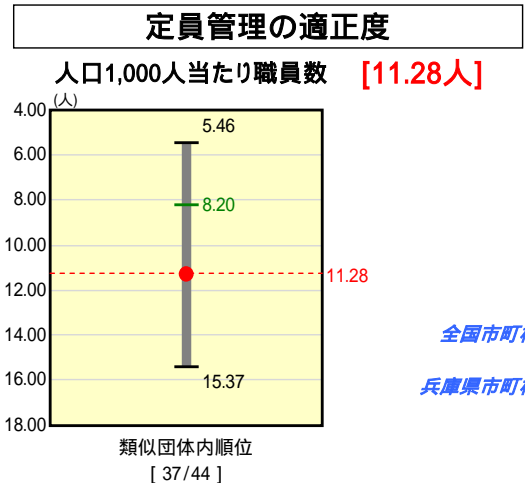
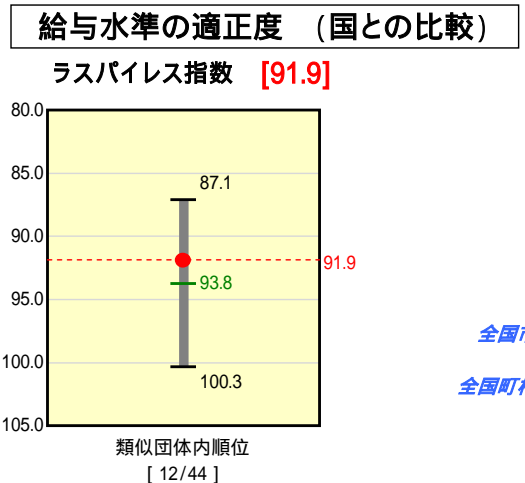
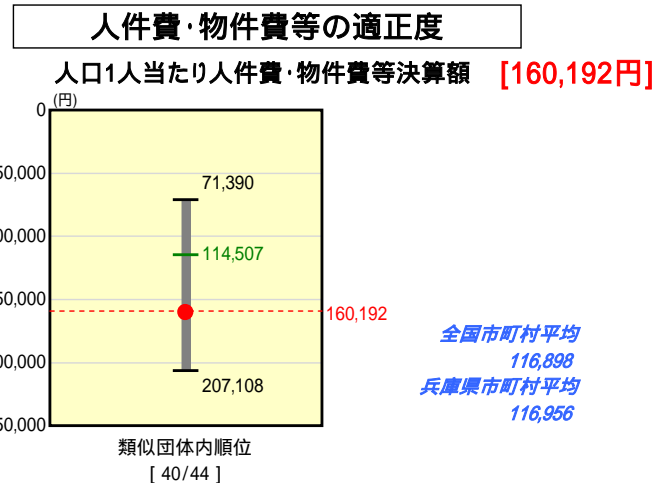
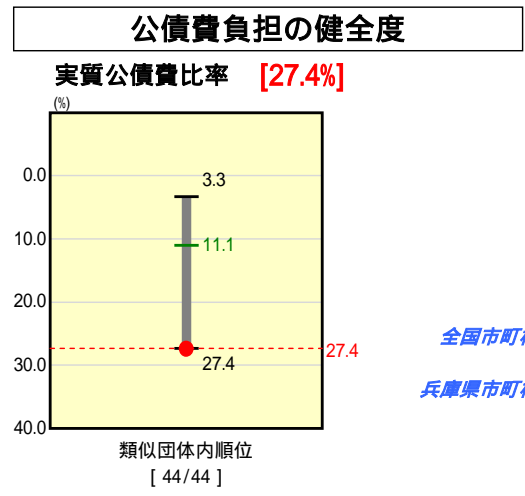
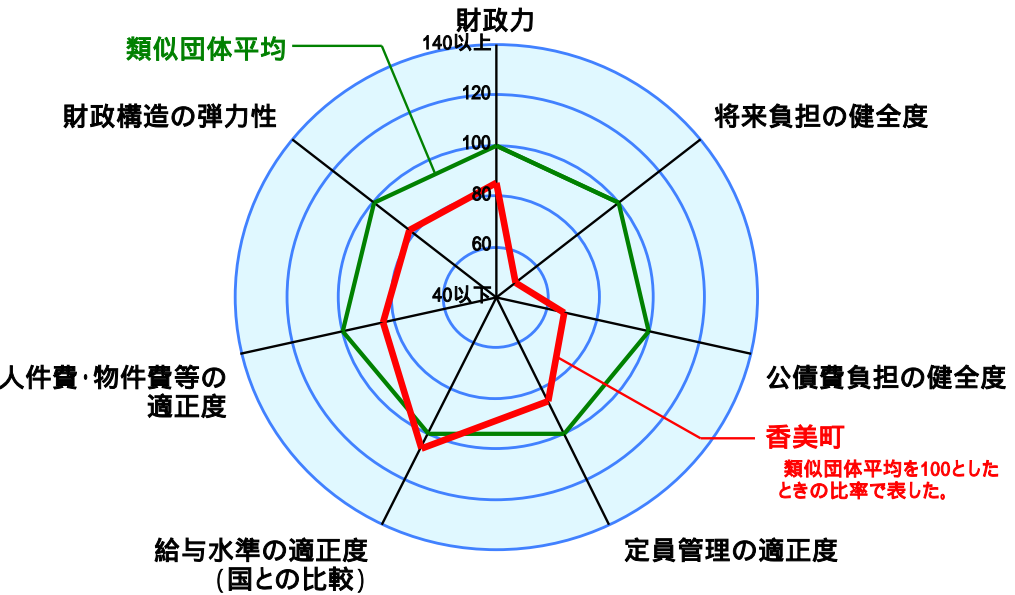
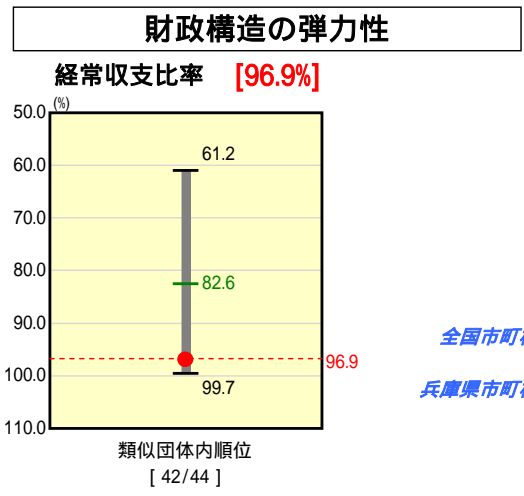
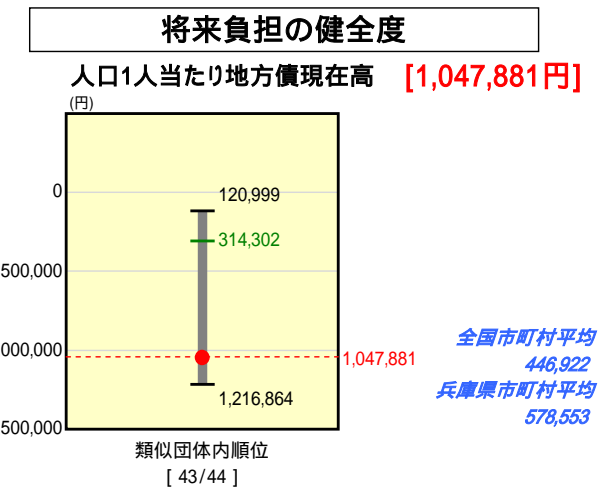
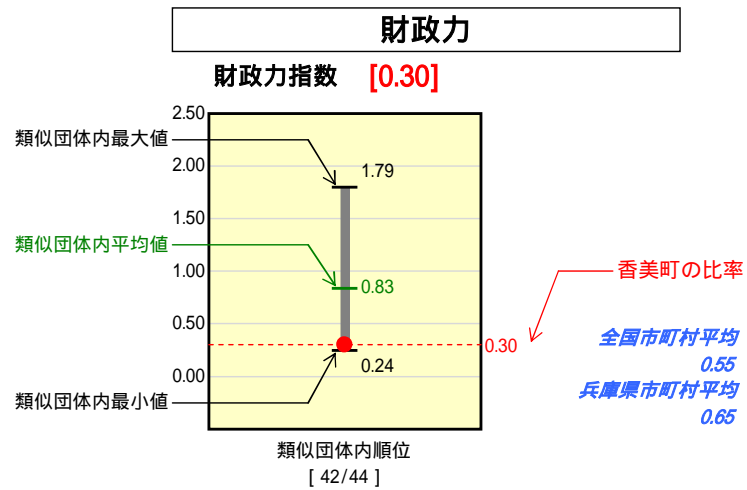


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

兵庫県 香美町

人口	21,728人	(H20.3.31現在)
面積	369.08	km ²
歳入総額	12,646,156	千円
歳出総額	12,237,410	千円
実質収支	386,362	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析欄

財政力指数
平成17年度の合併以降連続した伸びをみせているが、類似団体と比較すると税収が少ないため平均を下回っている。引き続き、町有地の売却による積極的な自主財源の確保や、定員適正化計画に基づく人件費削減による歳出削減によって、町行政運営の効率化に努める。

経常収支比率
公債費(36.3%)及び人件費(22.5%)の影響により類似団体平均を上回っている。公債費の削減については、公債費負担適正化計画に基づき起債発行の抑制などを行い、また、人件費の削減についても給与の引き下げを行うとともに、定員適正化計画に基づき早期勲奨退職の募集等の取組みを推進し、平成22年度に92%未満となるよう努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
町の面積が大きい(類似団体44団体中3番目)ことから職員数も多く、ラスパイレス指数が低いにもかかわらず人件費が高くなり類似団体平均を上回っている。対前年度5千円の減と改善傾向にあるが、引き続き定員適正化計画に基づき人件費の削減に努める。なお、物件費については除雪費等の特殊要因による影響もある。

ラスパイレス指数
給料月額(平成19年4月から)及び一時金の削減の実施により、類似団体と比較し良好な水準にある。今後も町の財

政運営の効率化、健全化へ向け、引き続き削減に努める。

実質公債費比率
観光施設整備、道路改良事業など積極的に社会資本整備を行ったため、起債償還額が増大し、比率を高める要因となった。対前年度2.0ポイントの減と改善傾向にあり、引き続き公債費負担適正化計画に基づいて起債発行の抑制、低利債への借換などを行う。また、平成20年度に約3億円の繰上償還を行う予定であり、平成22年度には早期健全化基準の25%を下回る見込みである。

人口1人当たり地方債現在高
観光施設整備、道路改良事業など積極的に社会資本整備を行ったため、起債の残高が約228億円(対前年度14億円減)となっている。今後も公債費負担適正化計画に基づき、起債発行の抑制を推進し、平成28年度末では約145億円(19年度人口では1人当たり約667,000円)となる見込みである。

人口1,000人当たり職員数
町の面積が大きい(類似団体44団体中3番目)ことから職員数も多く、ラスパイレス指数が低いにもかかわらず、類似団体の平均を上回っている。今後も定員適正化計画に基づき、早期勲奨退職の募集等の取組みを推進し、平成22年度には合併前(平成16年度末)と比較して15%の削減(19年度人口では1,000人当たり約10.7人)を見込んでいる。